

## PART 2

## 定額電話ビジネスへ動く事業者

新旧、一種・二種事業者入り乱れて  
一般電話5200万のIP化合戦へ突入

国家レベルでのIP電話導入へのフレーム作りが進められる一方で、行政の動きを待ち切れないといわんばかりに、新・旧、一種・二種の枠組みを越えてあらゆるタイプの通信事業者がIP / インターネット電話のサービスを開始している。それぞれのサービスを克明に分析し、「完全定額化」へのシナリオを描いてみる。

## 大手企業のVoIP化をSOHOにも拡大

このところ、通信事業者側から常時接続環境に音声通信を組み込み、加入者間での定額通話を実現するサービスが相次いで登場している。

そのアプローチ方法は大きく2つに分けられる。電話であることを強く打ち出したサービスと、インターネットのアプリケーションとして音声通信を提供する形態だ。

まずの内容をみていこう。

従量制のインターネット電話サービス「テレマトリックス」で業界トップクラスの実績を誇る二種事業者の千代田産業は、ブロードバンド回線を利用する定額制メニュー「フリートーク」をラインナップした。

ADSLやCATV、FTTHなどサービス種別や事業者を問わず、加入者同士であれば月額一定料金でかけ放題となる。一般公衆網への発信は従量課金だが、国内は全国一律3分15円、海外230カ国へも米英が3分24円、中国3分30円など安価な料金を設定している。

同社では当初、PCに接続するUSBホン「気にナイス」として4月からのサービス提供を予定していたが、使用するPCの性能やソフトとの相性で不具合が発生する可能性があったことから延期を決断。その間に、LANインターフェースを備えたIP電話機の開発が完了した

ため、この10月から新端末での仕切り直しを予定している。

また、利用料金についても、従来は端末代を含めて月額2000円としていたものを、端末代別で月額1000円に変更する。その理由について山田哲司社長は、「IP電話機が1万5000円程度の低価格で提供できるようになった。また、今後端末のオープン化を睨んでベンダー各社の市販品も取り込んでいこうと考えた」と説明する。実際、同社にはベンダーサイドから、ルーターやゲートウエー装置、ADSLモデム、電話機等々さまざまな形態のVoIP対応製品の売り込みがあるという。

フリートークのターゲットとしては中小企業をメインに据えているが、コンシューマー層の取り込みも視野に入れており、「テレマトリックスの得意客となっている遠距離恋愛中のカップルなどが有力候補になる」。

月額1000円での事業採算ラインは約2万アカウント。当面はこの数字を目標としているが、すでに契約数で5割をクリアしている。山田社長は、「ゆくゆくは常時接続ユーザーの10%程度に、当社のサービスを利用してもらいたい」と期待を膨らませている。

NTT-MEは、ADSLによるインターネット常時接続サービス「WAKWAK さんまいADSL / エンタープライズADSL」のユーザーを対象とした「WAKWAK コ

ール・ゴーゴー」をスタートさせる。

VoIP利用料金は、「WAKWAK さんまいADSL」シリーズが1内線番号で2200円、「WAKWAK エンタープライズADSL」シリーズは5内線番号で5000円。一般公衆網への電話は、国内で90秒10円程度、国際通話は米国1分18円、英国1分29円、中国1分64円などとなっている。また、ユーザー側に設置するSOHOルーターあるいはADSLモデムとVoIP-TAなどをMEブランドで用意し、パッケージ化して提供する。価格は5万円程度。

加入者間の通話に関しては、NTT東西の地域IP網を利用。また一般公衆網への発信はIPバックボーン「Xephion」上に構築した音声通信専用の「音声IPプラットフォーム」を経由して接続する。

同社は、「ボイス革命」をキーワードに、IP-VPNによる音声・データ統合や、イントラネットから公衆網への発信を可能にする「ボイスダイレクト」など企業向けのVoIPソリューションを揃えてきた。「WAKWAK コール・ゴーゴー」もその延長線上に位置付けられ、イントラネット環境を持たない企業のVoIP化を促していくのが大きな狙い。ただし、WAKWAK さんまいADSLはコンシューマー層も視野に入れたサービスであることを考えれば、需要の裾野が広いのも確か。初年度の目標はADSLユーザー総数を100万とみて、その1割の10万加入を目指す。

## 電話とは違う音声通信市場を創造

一方、インターネットのアプリケーションとして音声通信を提供する形態は、従来からWeb上のサービスとしては少なからずあった。しかし、ここに来てISPの付加価値メニューという形での展開が進み始めている。

NTTコミュニケーションズ(NTTコム)は8月20日から、インターネット接続サービス「OCNダイヤルアクセス /